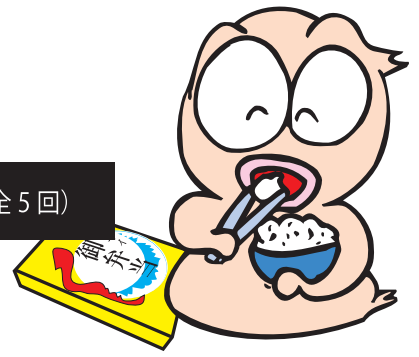


ヒーラーのための神秘学講座

## 『だるまんの陰陽五行』で理解する視えない世界 (全5回)



第一巻「木」の章発売以来、定期的に行っている横浜のだるまん講座ですが、このたび、より深い部分に手が届く一連の神秘学シリーズを行いたいと思います。「ヒーラーのための」とあるのは、だるまんの本義は「魂の成長」のためであり、それを私たちは互いに癒やしていくことで築けるのだ…という視点に立ったものです。しかし五行の扱うのは「象徴性」という世界でもあります。これを理解するには、私たちが普段使っている脳とは別の部分を使って理解しなければなりません。ここで神秘学をひとつの切り口にしているのはそういう理由です。視えない世界であるからこそ、より見える形にして理解するのが陰陽五行なのです。今回は五回のシリーズとして行いますので、なるべくならば、全五回すべてを通じて参加していただくことを希望いたします。前段の部分が欠けてしまうとだんだんと理解できなくなってしまう可能性もあるからです。

日時 2016年4月から9月までの第4日曜の午前10:00～12:00 (8月はお休みです) (会場9:45)

会場 崎陽軒本店 貸会議室 6階4号室 横浜市西区高島2-13-12 [http://www.kiyoken.com/rental/honten/h\\_access.html](http://www.kiyoken.com/rental/honten/h_access.html)  
(横浜駅東口の階段を上がり、横浜中央郵便局の方へお越しください。駅の目の前、郵便局の向かいです。)

費用 (事前振込み) 五回一括 25,000円 (税込み)

お申込み 以下まで電話かメールでお申し込みください。その際、振込先をお伝えします。

電話…堀内歯科クリニック (045-664-3864) (受付時間: 午前10:00～午後6:00まで…日月祝ならびに木曜午後を除く)

メール… [horichishika@docomo.ne.jp](mailto:horichishika@docomo.ne.jp) (堀内信隆)

### 【第一回】 2016年4月24日(日) 午前10:00～12:00 「五芒星と六芒星」

神秘図形として有名な五芒星と六芒星。陰陽五行は日本では安倍晴明でも有名な五芒星を用いますが、その基本は西洋神秘主義の基本にも出てくる十字架(十文字)です。そしてユダヤ教で有名な六芒星も西洋神秘主義の発祥の地バビロニアに遡っていくと十字架につながっていくことがわかります。要は十文字を通じて五芒星にも六芒星にも展開しているのが私たちが目にする神秘図形なのです。そこで十文字とは何か?という視点から見始めることで五行の「土」との関連性に気づき、その大いなる意味合いにたどりつきます。まずは神秘学のそもそもの始まりからながめてみたいと思います。

### 【第二回】 2016年5月22日(日) 午前10:00～12:00 「五行と諸体の分布」

東洋哲学で「気」と言われるものを理解するには西洋神秘主義の用語を使うのがわかりやすく、『だるまんの陰陽五行』でもエーテル体、アストラル体などの神智学の用語を用いています。これを五行との当てはめから理解するとその意味がより深くわかります。同時に死後の生と肉体、性別の意味するところ、妖精や幽霊、天使と悪魔、そして神などの言葉を諸体のヒエラルキー(界層)から整理してみましょう。こうした事がわかると「癒やし」とは何なのか、おぼろげながら見えてくるはずです。

### 【第三回】 2016年6月26日(日) 午前10:00～12:00 「生命の進化」

「癒やし」とは単なるなぐさめではなく、その人の魂の成長に関わるものでなければ意味がありません。通常は病などの症状が消えることを「治った」とか「癒やされた」と理解しがちですが、本講座ではもう一歩深く入り、人間として現在の生を受けていることを癒やし癒される資格を持っていると理解してみたいと思います。つまり、私たちは成長していくのであり、そのための羅針盤として陰陽五行を用いることができるのです。五行の相剋ルートを通じて私たちはどのように生まれ、成長していくのかを理解してみましょう。そしてさらに高我と呼んでいる彼らとの関わりについても述べていきます。

### 【第四回】 2016年7月24日(日) 午前10:00～12:00 「神道と仏教」

日本人は宗教的に寛容で、仏教の寺と神道の神社が混在し、クリスマスには何の抵抗もなくキリスト教を受け入れる国民性です。しかし、これはむしろ宗教の持ちやすい「他宗への不寛容さ」がないという点で大いに評価される場所だと思います。今回は『だるまんの陰陽五行』「火」の章での神社めぐりを中心に、神社と日本の神々、そこに関わる仏教の神々の意味について理解していきます。一例をあげるなら、五行の象徴を用いると天津神＝「火」の神であり、国津神＝「金」の神、人類は「火」と「金」の間にある「土」で育まれる存在…と理解できるのです。これが第三回で説明した高我と我々の接点でもあるのです。

### 【第五回】 2016年9月25日(日) 午前10:00～12:00 「シュタイナーと陰陽五行」

十九世紀の神秘学者ルドルフ・シュタイナーは多くの方がご存知だと思います。『だるまんの陰陽五行』ではシュタイナー哲学が至るところに顔を出します。今回は『だるまん神秘学』のまとめとしてシュタイナー神秘学を軸に五行との関係性についてお話したいと思います。「キリスト衝動」「境界の守護霊」「意識魂」などなど、シュタイナーを語るには多くのキーワードが存在しますが、そのいくつかを五行との関連で理解してみましょう。『だるまんの陰陽五行』の世界観と五行というモノサシをより立体的に理解できるものと思います。